

# グローバルヘルス人材戦略センター(仮称)の設置

司令塔となるグローバルヘルス人材戦略センターを設置し、国内・海外における戦略的な国際保健人材育成の強化と、「リボルピング・ドア」による人材プールの構築と情報共有を図り、2020年までに国際保健政策人材を50%増加させる。

(具体的業務)

1. 国際的組織への志願者の登録情報の受付・管理(人材のプール)
2. 登録者の技術支援、カウンセリング、アフターケア
3. 国際的組織からの求人情報等の情報収集、人材受け入れの働きかけ
4. 厚労省・関係省庁・大学・研究機関等と連携した人材育成戦略の企画立案
5. 就職が決まるまでの間の働き場所の提供(「止まり木」機能の提供)



(準備状況)

当該センターの立ち上げに向け、実施要綱等の整備や、情報整理などを実施中。

なお、上記の業務については、高度かつ豊富な知見・経験を有し、国際的組織との調整能力を持ち、人事情報という機密情報を取り扱うことができるものとして、国立国際医療研究センターにおける実施を想定。